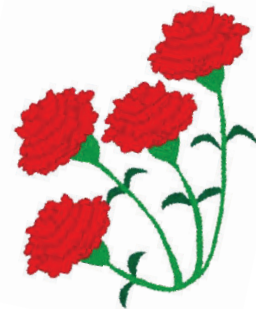


第220号

連携室だより



公益財団法人
北海道医療団

帯広第一病院

帯広第一病院理念・基本方針

【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。

肝臓外来を再開しました



理事長 三浦 雅人

《学会認定》

医学博士

日本内科学会 認定内科医

日本肝臓学会 肝臓専門医・指導医・東部会評議員

日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医・学会評議員

日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医・指導医・地方会評議員

日本消化器がん検診学会 認定医（胃）

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本医師会認定産業医



受付時間

毎週火曜日 8:30 ~ 11:00

小林理事長退職に伴い、毎週木曜日午後の肝臓外来が3月末で終了となっておりますが、新たに三浦雅人理事長による肝臓外来を毎週火曜日午前に変更し、5月14日より再開いたします。

肝臓外来では、ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、薬剤性肝炎、脂肪肝など、肝疾患の中には多種多様な肝臓の病気の治療を行います。これらのうち、最も代表的な肝炎として、ウイルス性肝炎があげられます。とくにC型肝炎、B型肝炎が多くの方々を困らせている病気として存在しています。

これらのウイルス性肝炎に対して、直接作用型抗ウイルス剤やインターフェロン、核酸アナログ製剤といった抗ウイルス薬を使用し、最新の治療を行っていきます。

治療の対象となる患者さんがおりましたら、是非ご紹介いただきたく宜しくお願いいたします。

今号の内容

- ・肝臓外来を再開しました (1)
- ・令和5年度消化器内視鏡センター実績報告 消化器内視鏡センター長 鈴木 郁 (2)
- ・歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告 歯科口腔外科部長 工藤 章裕
健康管理センター長就任のご挨拶 院長（兼）健康管理センター長 山並 秀章 (3)
- ・循環器内科外来開設のご案内 人工透析センター長就任のご挨拶
循環器内科 部長（兼）人工透析センター長 石本 朗 (4)

令和5年度消化器内視鏡センター実績報告

消化器内視鏡センター長 鈴木 郁



平素より大変お世話になっております。消化器内科部長兼消化器内視鏡センター長の鈴木です。

当センターでは令和5年度、上部消化管内視鏡検査が5721件（うち治療273件）、下部消化管内視鏡検査が1705件（うち治療298件）、ERCPが233件、小腸カプセル内視鏡検査が4件、小腸ダブルバルーン内視鏡検査が1件、胆膵EUSが106件施行されており、計7770件の内視鏡検査が施行されておりました。令和4年度に比して件数が増加しており、諸先生方からの御協力による賜物と考え、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

令和6年度になり、他医療機関の皆様方におかれましても体制の変化等に伴ってより一層当センターが担うべき役割も多くなるかと考えておりますので、引き続き御指導御鞭撻を賜りつつ、当科的疾患が疑われる症例に関して適宜当科へ御相談頂けますと幸いです。

本年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

検 査 手 技	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上部消化管	4,527 例	5,526 例	5,721 例
(内 訳) 上部消化管内視鏡検査	4,368 例	5,358 例	5,448 例
消化管止血術	46 例	29 例	62 例
異物除去術（アニサキスなど）	6 例	18 例	18 例
胃ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	19 例	21 例	40 例
食道静脈瘤硬化療法・結紮術	8 例	4 例	20 例
食道・胃ステント留置術	3 例	21 例	10 例
内視鏡的胃ろう造設術	39 例	34 例	35 例
その他	38 例	41 例	88 例
下部消化管	1,305 例	1,658 例	1,705 例
(内 訳) 下部消化管内視鏡検査	1,078 例	1,392 例	1,407 例
大腸止血術	12 例	17 例	28 例
大腸ESD(内視鏡的粘膜下層切除術)	12 例	28 例	38 例
大腸EMR(内視鏡的粘膜切除術)	179 例	176 例	199 例
大腸ステント留置	14 例	21 例	20 例
その他	10 例	24 例	13 例
ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査）胆道ステント留置術	174 例	198 例	233 例
カプセル内視鏡検査	0 例	0 例	4 例
バルーン内視鏡検査	4 例	0 例	1 例
胆膵EUS	63 例	79 例	106 例
肝生検（経皮的針生検）	9 例	0 例	0 例
経カテーテル肝動脈塞栓術	0 例	0 例	0 例
経皮的ラジオ波焼灼療法	1 例	0 例	0 例
合 計	6,083 例	7,461 例	7,770 例

歯科口腔外科入院による全身麻酔下手術実績報告

歯科口腔外科 部長 工藤 章裕



歯科口腔外科の令和5年度（令和5年4月から令和6年3月まで）の全身麻酔下での手術実績を報告させていただきます。

全身麻酔下で手術をおこなったのは108人で、手術件数は364例でした。

手術内容は抜歯が289件と最も多く、そのうち137件は埋伏智歯などの埋伏歯抜歯でした。

顎骨の良性腫瘍や嚢胞の摘出は12件、顎骨嚢胞開窓は1件でした。

顎変形症に対する上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）は5件、下顎骨形成術は左右下顎枝矢状分割術が5件、オトガイ形成術が2件でした。

上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）は下顎骨形成術（左右下顎枝矢状分割術）と同時にとおこなっています。オトガイ形成術はプレート撤去手術時に同時におこなっています。

全身麻酔下で手術をおこなった患者さんの多くは歯科医院から紹介をいただいた方です。

たくさんの貴重な症例のご紹介をいただいたことに心より感謝申し上げます。

今後も地域の医療機関と連携を図りながら口腔外科的治療を中心として診療をおこなっていきたく思います。

抜歯		289
内訳	埋伏歯抜歯術	137
	埋伏歯抜歯術以外	152
歯根嚢胞摘出手術		23
下顎骨形成術（下顎枝矢状分割術）		5
下顎骨形成術（オトガイ形成術）		2
上顎骨形成術（Le Fort I 骨切り術）		5
顎骨内異物除去術（プレート等）		20
顎骨腫瘍・嚢胞摘出術		12
顎骨嚢胞開窓術		1
口蓋隆起形成術		1
下顎隆起形成術		1
埋伏歯開窓術		3
歯肉・歯槽部腫瘍手術		1
腐骨除去手術		1
合計		364



健康管理センター長就任のご挨拶

院長（兼）健康管理センター長 山並 秀章



昨年度まで健康管理センター長であった高山副院長の退職により、4月から私が健康管理センター長を兼務することになりました。

健康管理センターは人間ドック、職場健診、特定健診などを行っている部門で、現在は1日あたりドック・健診をあわせて約40人の受診者の諸検査を実施しています。毎日数名の受診者が医療機関への受診勧奨となり、先生方の施設を受診なさる方もいらっしゃると思います。いつも、ご対応いただき、ありがとうございます。この程度で受診が必要なのかと思われることもあるかもしれませんが、ドック・健診学会の基準に沿った対応ですので、お許しいただければ幸いです。

早期発見、早期治療は患者さんの利益になりますし、医療費を抑制できる可能性もあります。ドック・健診の分野でも地域の皆様のお役に立てるように、職員一同、頑張っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

循環器内科外来開設のご案内 人工透析センター長就任のご挨拶

循環器内科 部長（兼）人工透析センター長 石本 朗

《学会認定》

日本循環器学会循環器専門医

日本内科学会総合内科専門医

日本透析医学会透析専門医

日本内科学会指導医

日本医師会認定産業医



受付時間

毎週水曜日 8:30 ~ 11:00

十勝管内の先生方には、当院に日頃から患者様を多数ご紹介いただき深謝致します。私は令和6年4月1日付で着任し、主に循環器疾患の外来と入院診療並びに人工透析センターで外来及び入院の透析受療を担当させていただいております。

循環器疾患は血液の通り道である心臓や血管に生ずる疾患です。生まれつきや遺伝子の異常を原因とする症例を除いては、加齢と共に生活習慣の悪化が加わり心臓や血管に負担がかかり、多くは徐々に、状況によっては突然に血流異常による症状が出現するのが特徴です。糖尿病や脳血管障害、慢性腎臓病では狭心症を来す冠動脈疾患や歩行障害や足に出来た傷が治らなくなる末梢動脈疾患などの循環器疾患の合併が知られております。

一方、バランスの取れた食生活や運動習慣が循環器疾患を一次予防し、健康診断が循環器疾患を早期発見し二次予防に役立ちます。臨床現場では多くの診療領域の先生方と同様に患者様に寄り添い適時情報を得て、治療が必要と判断すれば速やかに対応致します。

末期腎不全は放置すれば食欲不振、心不全など尿毒症症状が出現する致死的な状況です。機能しない腎臓の代わりを補う腎代替療法には血液透析と腹膜透析、腎移植が挙げられますが、腹膜透析と腎移植はわが国では普及していません。

人口100万人あたりの透析患者数は台湾が世界で最も多く、日本は2位で透析医療の水準は世界最高と言えます。しかし厳しい我が国の医療財政の中で透析医療費を確保してゆくためには、今後も世界最高水準の透析医療の質を担保し患者様やご家族との信頼関係を維持することが不可欠です。

当院では疾患・受傷で入院後体力の低下した透析患者様が家庭復帰するまでのリハビリ（橋渡し）入院を展開しております。ご紹介いただければ幸いです。



発行 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室

〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3

TEL 0155-25-3121（病院代表） / 0120-558-091（予約専用）

FAX 0155-27-0248（連携室専用） e-mail renkei@zhi.or.jp

